

ふじみ野市の事例ヒアリングの振り返り①

問い	分類	回答
良いと思った点、取り入れたい点	地域学校協働活動	教育委員会としてプランを立てて取り組んでいたこと
	地域学校協働活動	本部組織を置かず、コーディネーター同士のネットワークを重視して、社会教育課が相談窓口になっている
	地域学校協働活動	本部を構えずスタートしている点。本部としての独自活動が考えにくいので、当面このような形で良いのではないのでしょうか。
	地域学校協働活動	状況に応じて試行錯誤しながら進めたこと
	地域学校協働活動	行政職員が中心となる。（出来れば「社会教育士」資格のある職員。市の施策や連携がとりやすい）
	地域学校協働活動	学校運営協議会との兼務は避けるように依頼する。（様々な視点から考査する）
	地域学校協働活動	事務局の場所確保
	地域学校協働活動	ラインワークスのような情報交換手段を活用していること。
	地域学校協働活動	コーディネーター同士の情報交換、交流の場、研修会などが年間複数回セットされている
	地域学校協働活動	コーディネーターの活動には社会教育課があまり関与せず、その主体性にまかせたこと
	地域学校協働活動	地域コーディネーター同士の情報の共有ができています
	地域学校協働活動	地域コーディネーターの協力者が周囲にいる点
	地域学校協働活動	コーディネーターの育成は、コーディネーターのつながりの中で行われていること
	連携	生涯学習課と学校教育課の連携
	連携	学校教育課と社会教育課がそれぞれ学校運営協議会と地域学校協働活動を担当して連携して進めている
	連携	学校運営協議会の会長と地域コーディネーターは極力兼務しないようにしている
	連携	学校運営協議会に市の職員、地域コーディネーターが入って、学校の意見収集と関係部署への情報共有を行っている
	連携	学年×年間カレンダーを張り出して、地域・外部との協働プログラムを各教員が張り付けていき、全体に見える化する
	連携	学校運営協議会において、対話でコンフリクトを乗り越えたこと
	学校運営協議会	教育長が先頭に立ち、庁内の各組織を動機づけてCSに参加してもらったこと
	学校運営協議会	行政職員が学校運営協議会に参加している点
	学校運営協議会	学校運営協議会に庁内各課が参加したこと
学校運営協議会	学校運営協議会予算として生徒から5,000円/年を徴収する。（地域コーディネーターに還元できる）	

ふじみ野市の事例ヒアリングの振り返り②

問い	分類	回答
違和感を感じた点、課題だと感じた点	地域学校協働活動	地域学校協働本部は無い。
	地域学校協働活動	ふじみ野市は地域学校協働活動の本部を置かない点
	地域学校協働活動	ふじみ野市は地域コーディネーターに活動内容を任せている点
	地域学校協働活動	全ての学校が実施しているわけではない。
	地域学校協働活動	学校内に地域学校協働活動ルームが必要 ※作業場所、休憩所、集会場所として使用（学校と地域の緩衝ポイント）
	地域学校協働活動	協働本部の予算をどのように組み立てていくか。
	地域学校協働活動	コーディネーターへの報酬に制限がある（新たな財源の確保）
	地域学校協働活動	富士見市の場合、地域の担い手となるコーディネーターを探すのは難しいのでは？ （コーディネーターについての知識、理解及び時間的な問題）
	地域学校協働活動	コーディネーターのリクルートと育成をどうするか
	地域学校協働活動	学校外の人が入ってくることで、学校の外での活動が増えてくることによる安全面のリスク管理
	地域学校協働活動	学校運営を支援・補助し、教員の負担を軽減するための活動のように感じた（それはそれで必要だと思うが…）
	地域学校協働活動	地域の力で授業を準備することで、先生の負担を軽減する存在と誤解される懸念がある
	地域学校協働活動	学校ごとの地域学校協働活動のみで、地域起点の取り組みが地域のイベントぐらいだった
	地域学校協働活動	富士見市としての地域学校協働活動のビジョンを描けるか
	連携	一部、学校側が地域学校協働活動について理解が追い付いていない懸念がある
	連携	別組織だった学校教育課と社会教育課の連携を深められるか
	連携	各組織の名称をどうするか ※「学校運営協議会」「地域学校協働本部」などの漢字の名称は印象が硬い
	学校運営協議会	本部ではないが、学校運営協議会に行政がメンバーになっていること。事務局的な参加で良いのではないのでしょうか。

ふじみ野市の事例ヒアリングの振り返り③

問い	分類	回答
富士見市の強みとして再認識したこと	地域学校協働活動	学校数や地区割が少ないため、市全体で活動出来る。
	地域学校協働活動	本部を組み立てるためのパーツはかなり揃っていると思われます。それを機能させるための人の問題が重要だと考えます。
	地域学校協働活動	特色が何もない富士見市に、他市とは異なるアプローチがこれから出来る？
	連携	学校運営支援者協議会が長く活動しており、地域と学校が連携できる下地がある
	連携	企業と出会えるコミュニティ（フジミライテラス）があること（松尾さんの指摘）
	連携	地域団体の数が多いこと（CSを軸に横連携できるかが課題）
	連携	公民館が存続していること（積極的にCSに取り組んでもらえるかが課題）
	連携	CSの主軸である社会教育の基盤の強さ（維持できるかが課題）
	学校運営協議会	現存する学校支援者協議会のメンバーに、地域住民を含めた様々な人が含まれているため活用しやすい
	その他	各公民館が住民ニーズに答えるために様々な取り組みを行い、住民を巻きこんだ活動を行っている点
	その他	公民館などの社会教育施設が地域の核になっていて、活発に活動もしている
	その他	公以外の住民の自主的な社会教育活動が活発である
	その他	社会教育委員会が他の自治体と比較して機能していること

ふじみ野市の事例ヒアリングの振り返り④

問い	分類	回答
富士見市が目指すべき地域学校協働活動（本部）のあり方のポイント	地域学校協働活動	公民館を軸とした本部の設置 ・地域の人材を有効活用した教育活動の充実 ・子ども、大人等を含めた地域住民の居場所 ・地域の中に各小中学校が設置されており、各学校間の横のつながり（連携）がとりやすい
	地域学校協働活動	富士見市で一つの概念的な本部を作り（組織にはしない）、その中に公民館を核にした支部がある形とする
	地域学校協働活動	コーディネータとしての適性を備えた人材の確保
	地域学校協働活動	ひとを含めた地域資源の掘り起こし
	地域学校協働活動	もともと学校や地域に関わっている人以外の人や地域企業など、新たなプレイヤーを巻き込んだ活動にする
	地域学校協働活動	富士見市としての強みを伸ばすか、弱みを改善するかをターゲットとして、どの学校も同じ質の学習や体験が出来ることを目指したい。
	地域学校協働活動	給食と同じイメージで、富士見市全体でこの市だからこそ出来ることを体験し、富士見市だったからこそこういったことが出来た、やったとしたい。
	地域学校協働活動	富士見市に住む中で、小中学校の思い出として残るものを体験してもらいたい。（イベントだけでなく日常生活として）
	地域学校協働活動	富士見市だから体験出来ること、「遺跡発掘」「バドテニスを体育に盛り込む」「青春賦を卒業歌にする」「手話を必修科目」とか。
	地域学校協働活動	ネーミングの重要性の指摘があったが、漢字の羅列ではないわかりやすいネーミングが望ましいと考えます。
	地域学校協働活動	地域学校協働活動が活発であることをいかに情報発信できるか※「広報」で毎号CSを連載
	地域学校協働活動	地域学校協働活動を富士見市の文化・アイデンティティへ昇華できるか
	連携	学校での理解が重要との指摘があったが、そのとおりで先生方の協力がないと進まないと考えます。
	連携	学校と地域との「未知との遭遇」という発言がありました。そんな気持ちで始めてみれば良いのではないのでしょうか。
	連携	各学校の学校運営協議会にも地域コーディネーターが委員として入り、意見を汲み上げ、他の委員と協働する
	連携	市全体や公民館単位の本部・支部と別に、各学校の運営を支援・補助する機能を設置する
	連携	既存の学校関連団体や社会教育活動団体を取り込んだ活動とする
	連携	行政を含めて市内のステークホルダーがCSの旗のもとに集まる
	連携	様々なステークホルダー、地域団体への動機付け
	連携	各ステークホルダーの連携、および地域資源の掘り起こしを促進する役割の配置（統括的な地域学校協働活動推進員）